

宇内金属工業株式会社の進出決定 小野田・楠企業団地

SCENE 1



写真左から、藤田剛二市長，小野泰市会議長，大谷恒雄県商工労働部長，宇内章起代表取締役

小野田・楠企業団地へ宇内金属工業株式会社の新事業所の進出が決定し、2月13日、市役所で進出協定調印式が行われました。同社は昭和16年(1941年)に大阪市で創業し、エアコンなどの空調用部品やシートベルトなどの自動車関連部品を主軸に長年、地域経済の活性化に貢献されている企業です。当団地への進出は、今後のさらなる事業拡大および中四国・九州への事業進出に対応するため、本市に山口工場を新設するものです。操業開始は来年3月を予定しています。

■宇内金属工業株式会社
 〈本 社〉大阪府大阪市東成区
 東小橋 2-5-27
 〈代表者〉代表取締役 宇内 章起

SCENE 2 災害に強いまちづくり 石油類燃料の供給協定を締結

市と富士商株式会社は、2月7日、大規模災害発生時に庁舎や避難所で使用する軽油や灯油、配送等に使用する車両のガソリンなど、石油類燃料を優先的に供給する協定を結びました。災害発生時には、迅速かつ確かな災害対応を行うとともに、市民生活の早期安定化を図ることとしています。



柿木茂樹 富士商株式会社専務取締役(写真左)



SCENE 3 江戸時代から続く伝統 有帆片山地区の「百万遍念仏」

有帆片山地区に江戸時代末期から約150年続く伝承行事「百万遍念仏」が2月16日、当屋宅で営まれました。地区住民約40人が、読経と子どもたちが叩く太鼓に合わせ、長さ10m、大小333個の玉からなる大数珠を回し、今年一年の無病息災、家内安全、五穀豊穰を祈願しました。